

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)カンダホールディングス堺物	階数	地上3階
建設地	堺市堺区築港八幡町1-155	構造	SRC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	120 人
気候区分		年間使用時間	0 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年11月 0.0	評価の実施日	2010年7月8日
敷地面積	19,887 m <sup>2</sup>	作成者	神田・原
建築面積	6,493 m <sup>2</sup>	確認日	2012年4月10日
延床面積	17,536 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	94%
③上記+②以外の	94%
④上記+	94%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	2.6
温熱環境	2.4
光・視環境	2.3
空気質環境	3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

機能性	3.3
耐用性	3.0
対応性	4.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物の	N
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	3.4
非再生材料の	3.5
汚染物質	2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.2
地域環境	3.5
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	物流倉庫であることから、維持管理の合理性かつ清掃性・防汚性に配慮した施設計画をしている。	その他 0
Q1 室内環境	一般的な事務所・物流倉庫としての標準的な配慮を行っている。	Q3 室外環境(敷地内) まちなみや景観について条例に則した配慮を行っている。
LR1 エネルギー	一般的な事務所・物流倉庫としての標準的な配慮を行っている。	LR3 敷地外環境 一般的な事務所・物流倉庫としての標準的な配慮を行っている。
Q2 サービス性能	一般的な事務所・物流倉庫としての機能性を有し、かつ清掃性・防汚性に対して十分な対策を行っている。	
LR2 資源・マテリアル	一般的な事務所としての標準的な配慮を実施し、かつリサイクル材の採用に努めている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)カンダホールディングス堺物流センター	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区築港八幡町1-155	1.1	B+
	主用途/延床面積	工場 / 17,536.00 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	3	

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減		評価項目	スコア	評価点
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.2	3
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	0.0		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.4		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	3.0		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.4		
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	1.0	3
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	2.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	5.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	